

(再録)

活動内容と趣旨説明

活動基盤を構築するためにチーム制を導入します。

- (1) ケアマネジメントチーム：「高齢者」「障がい者(児)」「地域医療福祉」各分野・団体等との連携を蜜にし、大田区の保健福祉の質の向上に寄与します。
- (2) 権利擁護チーム：「成年後見」「虐待対応」「低所得者対応」成年後見活動を中心に、大田区の権利擁護体制を構築します。
- (3) 地域福祉チーム：「地域包括支援センター」「地域コミュニティー」地域包括支援ネットワークを構築し、大田区地域包括ケアを実現します。

※各チームのサポーター (1) 大山昭典 (2) 中村一孝 (3) 竹本 是

総会の活動計画案としてご説明させていただきましたように、今年度は「ケアマネジメント」「権利擁護」「地域福祉」のチーム制を導入して活動を展開していきたいと考えています。会員の皆様にはいずれかのチームに入って活動に参加していただきたいのですが、日常の業務に追われての活動時間の確保であったり、定例会への参加であったりが難しい現状も予測されます。

いつ、どこで、どのように情報共有をするのか、活動頻度はどれくらいなのか、定例会の発表内容はどのようなものにするのか・・・

職業として或いは配属されている勤務先の業務内容もさまざまです。得意分野のチームにするのか、敢えて未知の分野に勉強のためチャレンジするのか、しばらくはチームに拘らず、定例会に参加して学習の機会とするのもありだと思います。定例会の内容はホームページや会報等でお知らせしますので、どんな形からでも参加する意識の醸成が大切だと考えます。

チーム制の導入は新しい試みですが、おおた社会福祉士会の更なる活性化を目指し、今できることから取組み、意見を出し合いながら活動を積み重ねていきたいと思っています。

勉強会・研究会なのか、活動発表なのか、講義形式で講師をチーム員とするのかは自由です。

果敢な意見交換のもと年間計画の検討をお願い致します。